



2012年 3月10日

みなさん、こんにちは。イカナゴ漁が先月末、解禁になりましたが、釘煮やかまあげはもう食べましたか？我が家では、3人の方からいただいた釘煮を食べ比べながら味わっています。

● 昭和世代から平成生まれの子ども達へ -ボランティアによる解説-



ボランティアさんと
見学に来た子ども達

平日は2～4校の小学校が昔のくらしを学びにやってくる『くらしのうつりかわり展』。連日の見学を支えているのは、“おじいちゃん先生”や“おばあちゃん先生”達です。博物館の登録ボランティアは普段、ワークショップや着付などのグループに分かれて活動していますが、『くらし展』ではその枠を越えて参加していただき、古い道具の使い方や実体験をふまえたエピソードを話したり、昔のあそび(お手玉やベーゴマなど)を教えたりして、昭和のくらしを伝える役割を担ってもらっています。

今回、下駄や足踏みミシンなどのさわって体験する道具がありますが、鼻緒が切れたりミシンに糸が絡まったりという時に、器用に直してくれるのも実はボランティアのみなさんなのです。「物を大切に使う」ということが身に付いていることに、職員も感心させられています。

● 春旬祭(3月10日・11日)にブースを出店

明石に春を告げる春旬祭が、3月10日(土)・11日(日)に魚の棚商店街周辺で行われます。当館もブースを出して、春季特別展『平山郁夫展』や4月1日から発売予定の「ぶんぱくパスポート」をアピールする予定です。

春季特別展の前売観覧券を手に入れたい方や「ぶんぱくパスポートって何だろう?」と思った方は、ぜひ、のぞいてみて下さいね!!



● 「あかし・小学生新聞チャンピオン」作品展示のご案内

日々のニュースを伝えるメディア“新聞”は、社会の今を知る教材として、教育現場でも活用されています。当館では、昨年夏から年末にかけて、明石市の小学生を対象に新聞の募集を行いました。

このたび、館長はじめ6名の審査員による審査が行われ、最優秀賞やスクープ賞などの各賞が決まりました。受賞作品ほか、300点あまりを現在、展示中です。

展示期間は、3月30日(土)まで(午前9時30分～午後6時30分、入館は午後6時まで)で観覧は無料です。なお26日は休館ですので、ご注意ください。



右端点前が受賞作品(2階会議室)